

学校だより



笑顔の輪

青郷小学校



ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために

各家庭で、自分が自主的に取り組んだ夏休みを終えて、体も心も一回り成長した子供たちが元気に登校して、2学期が始まりました。

始業式では、「夏休みに一人ひとりが身につけた力を、2学期は学級のみならず協力することで大きく伸ばしていきましょう。」という話をしました。

子供たちは、学校では、集団（学級の仲間など）の中で人と関わりながら、いろいろなことを学び、成長していきます。

集団の一つの理想の姿を表現した言葉が上に書いた見出しの言葉です。ラグビーの世界ではあまりに有名な言葉ですが、学級目標などに採用する教師もいます。

授業中に困っている友達の力になる、学級で問題が起こったときに解決に向けて動く、みんなが避けたがる役を引き受けるなどが言葉の具現化であり、校内でそのような場面を見ることがあります。

折しも今、日本でラグビーワールドカップが開催されています。また、去年は、学校に国体に参加した女子ラグビー選手が来て、競技としての魅力やチームワークの大切さを学ぶなどの素敵な交流ができました。

2学期はこの言葉を学校生活のいろいろな場面で意識しながら、「チーム青郷」として、行事や学習を通して、みんなが笑顔になる大きなトライを取りたいと思います。応援よろしくお願ひします。



吉坂堡壘（砲台跡）を見学しました

20日（金）に6年生が青郷公民館主催の「青郷学」の吉坂堡壘の見学会に参加しました。吉坂堡壘は校区にある貴重な歴史遺産（日露戦争時に敵が攻めてきた際に迎え撃つ砲台を設置した跡）です。初めて堡壘をみて、当時の技術や資材の素晴らしさ、山の上に堡壘を築くという人々の苦労やその思いなどたくさんのことを学び、感じることができました。一緒に登った地域の大先輩からは、「自分たちが子供の頃はよくここに遊びに来た。」という話をお聞きして、当時の子供たちのたくましさや好奇心の高さなどにも驚かされました。今後も校区の素晴らしい物や場所を見学したり、地域の皆さんとのふれあいを通して、青郷を愛し、誇りに思える子供たちになってくれることを願っています。



点字について学習しました

24日（水）に4年生が小浜点字サークルで点字が使われている方の支援などの活動をされているメンバーの瀬戸さんと金森さんにお越しいただき、点字の表記などについて教えていただきました。

50音の点字の表記や、自分の名前を点字にしたしおりづくりなど、初めて点字を学ぶ子供たちにわかりやすく教えていただきました。

実際に点字に触れ、作業を通して学ぶことで、点字に興味を持ち、目の不自由な方のことを考えることにつながる貴重な時間となりました。今後も人権学習、障害のある方への理解学習に取り組み、みんなが笑顔で暮らすことのできる社会をつくる子供たちを育てていきたいと思ひます。



【大切なお願いです】10月4日（金）夜7時30分からは、「ママ's & パパ's サロン」開催です。

お茶をしながら、子供や子育てなどいろんなことを、フリートークしたいと思ひます。小さなお子様も安心してすごせるように図書室を開放します。

みなさま誘い合わせてお越しくたさい。